

(公財) 諏訪郷友会 平成30年度事業報告

I 事業の状況

<公益事業>

1 学生寮「長善館」の運営

| | |
|-------|--|
| 4月 | 新入館生11名が入館し、30年度期首の在館生数40名でスタート。 |
| 8～10月 | 中途退館生6名で34名に。 |
| 2月 | 中途退館生1名で33名に。 |
| 1～3月 | 卒館生8名で25名に。入館面接を実施し9名が入館して34名に。(内1名は途中入館者) |
| | R1年度期首の在館生数34名でスタート(4月に中途退館1名)。3月に部屋替え実施。 |

2 館生と維持会員の研修交流のための会議等の開催

| | |
|-------|---|
| 5月～1月 | 「長善館オープンセミナー」第47回～49回を開催。 5月「弁護士業界の変遷に想う」(小口隆夫氏)、10月「中国と共に歩んだ道」(小口隆氏)、1月「トランプ政権と日本」(清水憲司氏) |
| 8月 | 「夏季郷里大会及び長善館同窓会」を開催。(於:「ゆうむ25」)参加者は会員及び館生保護者他51名・館生4名。岩本弘氏による講演会「挑戦しよう!定年・シニア起業」を実施。聴講者は約50名。 |
| 10月 | 「秋季大会」と館生主催の「長善館記念祭」を合同開催した。参加者は会員及び館生保護者他27名・館生約30名。 |

3 会報等の発行

| | |
|----|------------------------------|
| 8月 | 「諏訪郷友会ニュース 2018年夏・復刊第33号」刊行。 |
| 2月 | 「諏訪郷友会ニュース 2019年冬・復刊第34号」刊行。 |

<収益事業>

1 長善館駐車場の経営

6年連続で700万円超えで推移し、30年度は利用率がアップし776万円と過去最高額となった。

2 太陽光発電による売電

事業開始5年目。30年度売電高108万円、月平均約9万円とほぼ安定的に推移。

<法人運営>

収支面では、合計の収支はマイナス92万円で前年(マイナス4万円)比で88万円減と厳しい結果となった。対予算では、収入が協力金、駐車場運営でプラスの一方、途中退館複数名分の減収などで計108万円のマイナス。支出は、途中入館者勧誘活動費、光熱水料費の増加と、維持管理費等の縮小、館生減少による食事代縮小などで計94万円のマイナスとなった。全寮室エアコン交換の寄附金約355万円は収入、支出の両方に計上された。令和1年度は館生数減少により、更に収支マイナスが膨らむと予想される。

運営面では、

- ・規程により6月に理事全員の任期改選をし、監事1名を追加し3名体制とした。
- ・館生確保のため、募集方法見直しを話し合った。今後の着実な実行が重要。
- ・管理人の体調不良により一部業務に支障が出たため、管理人業務の再確認と徹底を図った。
- ・寮室の掃除、整頓状況が館生委員会組織でチェック管理されるようになり、部屋替えルールが変更された。
- ・協力金キャンペーン終了後の寄附金維持増加のため、諏訪地域及び長野県内の幹事の活動強化が期待される。